



お元気ですか！

志村 たかよし です

第575号 2012年1月22日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
 電話 3546-5563
 FAX 3546-9570

国保、介護、後期高齢者の保険料値上げ計画が次々と…

社会保障の切り下げ、消費税増税は許さない！

野田改造内閣は、消費税増税とともに社会保障の切り捨てや負担増などの改悪を自民・公明とも手を組んだ推進体制をつくり、何が何でも押し通そうとしています。

「社会保障と税の一体改革」の名で進められているこの計画は、2000年代初頭、財界の「提言」で「大企業の税と保険料負担を軽減するように」と要求されたものを具体化するものです。

いま、消費税増税とともに負担増、給付減の計画があります（左表）が、中央区でもこの4月から、介護保険料は3割引き上げ（「お元気ですか572号」）、後期高齢者医療保険料は1割引き上げ、そして国保料の引き上げも検討されています。

景気が悪く、生活が大変なのにこれ以上の負担増はとんでもありません。保険料引き下げ等による負担軽減策が必要です。



「しんぶん赤旗」日曜版1/15付より

日本共産党が考える

財源確保の道

マスコミは、「消費税増税はやむなし」のキャンペーンをはっていますが、消費税に頼らずに社会保障の財源を作り出すことは十分可能です。

★日本共産党以外の政党が山分けしている320億円の政党助成金（政党交付金）を廃止する。

★八ッ場ダムや1m1億円もかかる外環道などのムダな公共事業をやめる。

★一機百億円もする戦闘機を42機も購入する計画や米軍への思いやり予算など、5兆円規模の軍事費にメスを入れる。

★大企業の法人税率引き下げや富裕層を優遇する証券優遇税制などをやめる（約1兆7千万円の財源が生まれます）。

など、内部留保を266兆円も貯め込む大企業やひと握りの富裕層に自分の負担をってもらうことが必要だと思います。

消費税増税にきびしい目。反対が軒並み55%超

マスコミは「増税支援」をするけれど、世論は許さない

野田改造内閣の発足を受け大手紙がいつせいに世論調査を実施し、15日に結果を発表しました。

設問に「社会保障の財源」と明記しても消費税増税に「反対」が軒並み55%を超え、「賛成」は3割台に低落する調査結果となりました(左グラフ)。

大手新聞がそろって増税支援の社説を掲げるなかでも、国民は消費税増税に厳しい目を向けていることが明らかになりました。

昨秋以降、消費税増税反対と賛成との差が急激に開いているのはこれまでにない状況です。

野田内閣の支持率も統落傾向で、増税に向け「最強の布陣」とした改造も支持を得ていません。

多くの人たちは「年金は給付額削減と支給先延ばし、医療や介護も負担増と給付減の方向で、なぜ消費税だけ増税なのか」と思っています。

消費税増税をストップさせ区民生活を守るために私も力を尽くします。



「しんぶん赤旗」1/16付より

中央区職労が「団結旗開き」



1月13日、中央区職員労働組合の「団結旗開き」が区役所内で行われ、党区議団から、私(志村)と、おぐり、加藤議員が出席しました。若い職員が目立つ会場を獅子舞が巡り一人ひとりの頭をかんで厄除けをしました。恒例の大抽選会も盛り上がりました。

中身連が「新年懇親会」



1月15日、中央区身体障害者福祉団体連合会(中身連)の「新年懇親会」が、福祉センター内で開催されました。相澤俊一会長や区長、社会福祉協議会会長などの挨拶では「障害者総合福祉法」策定への期待がそれぞれ語られました。乾杯のあと、楽しいひと時を過ごしました(写真)。

「意見、要望など、お気軽に」連絡ください(03-6601-6600)